

# 令和2年度 東村山市立東村山第一中学校 学校経営計画

校長 海老塚 俊一

東村山市教育委員会の教育目標を受け人権尊重の精神のもと主体性をもち個性と創造力を兼ねそなえ社会貢献ができる人材の育成を目指します。活力にあふれ、これからの時代をたくましく生きる人間の輩出を目標に教育目標および目指す学校像を以下の通り設定します。

## ○教育目標

- ・よく考え、自ら学ぶ人となろう
- ・広く他を思いやる人となろう
- ・明るく、心身共に健康な人となろう

## ○目指す学校（学校のビジョン）

子どもにとって

- ・明日もまた行きたいと思う学校
- ・成長を実感できる学校

教職員にとって

- ・自己研鑽に励み協力して進める学校
- ・経営参画の意識をもち、東村山一中教職員としての喜びや誇りを実感できる学校

保護者、地域にとって

- ・協力して子どもたちの成長にかかわっていると実感できる学校
- ・生徒を育てているようすがよくわかる学校

## ○今年度の取組目標

教育課程全体を通して「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」3つの資質能力をバランスよく育成することを目指します。

学力向上にかかわること

- 1 育成を目指す資質・能力、態度について
  - ・「習得した知識や技能を主体的に活用する能力」「コミュニケーションを行う力」「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」
- 2 方針について
  - ・基礎的、基本的な知識、技能を確実に身に付けさせる教育を推進します。
  - ・持続可能な社会の創り手として必要とされる能力や態度の育成と「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。
- 3 取組みについて
  - すべての生徒に分かりやすい授業（東村山第一中学校授業スタンダード）を進めます。
  - 生徒同士、教員とのかかわりを大切にされた授業を行います。
  - ICT 機器を活用した授業を推進します。
  - 数学、英語で少人数授業を行います。
  - 放課後や長期休業、学生ボランティアを活用した補習授業を行います。

## 健全育成にかかわること

- 1 育成を目指す資質・能力、態度について
  - ・「自己を客観的に捉える能力」「多様性を尊重する態度」
- 2 方針について
  - ・人権教育やいのちとこころの教育を推進し健全な心を育みます。
  - ・当たり前のことを当たり前でできる生活習慣が身につくよう指導の徹底を図り、自己の感情や行動を統制する能力を身に付けさせます。
  - ・持続可能な開発目標を目指す教育を実践し自己の生き方を考える姿勢を育てます。
- 3 取組みについて
  - お互いを認め合う望ましい学級集団づくりを通して協力性や他者理解、ルールを守ることの大切さを身に付けさせます。また、あいさつや言葉づかい、時間を守る指導の徹底を図ります。
  - 特別活動（生徒会等）や総合的な学習の時間を通して持続可能な開発目標を目指す教育（環境教育、人権教育、平和教育等）を進めます。
  - 多面的な生徒理解と組織的な教育相談を行います。「東村山市不登校未然防止、早期発見、早期対応マニュアル」を活用し不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努めます。学校いじめ対策委員会を中心に生徒情報を共有しいじめの早期発見、早期対応に取り組めます。
  - 学級活動の工夫、生徒理解研修、S Cや外部機関（希望学級、子家、S S W、巡回支援員等）との連携、ケース会議、教育相談週間等を実施します。

## 健康や体力づくりにかかわること

- 1 育成を目指す資質・能力、態度について
  - ・「自らの健康、安全な生活を実現するために課題を発見し解決する能力」「安心な社会づくりに貢献する態度」
- 2 方針について
  - ・体力に関する意識や健康を保持増進する資質や能力の向上を目指します。
  - ・健康安全に生活する力の向上をめざし安全教育の充実を図ります。
- 3 取組みについて
  - 保健委員会を中心に健康に関する調査や呼びかけを行います。
  - 外部機関と連携し交通安全、薬物乱用防止、食に関する指導等の推進を図ります。
  - スーパーアクティブスクール指定校として研究した成果を保健体育等の授業や部活動指導に活かし生徒の体力向上に努めます。

## 保護者、地域との連携にかかわること

- 1 方針について
  - ・地域社会に貢献できる学校のあり方について考えます。
  - ・教育活動のねらいや学校の様子を適切に保護者、地域の方々に周知し透明性を高めます。
- 2 取組みについて
  - 地域行事等への参加、地域と連携した授業や体験的行事の充実を図ります。
  - 夏期長期休業の前に民生児童委員との連絡会を開催します。
  - 土曜授業の実施や学校だより、学年だより、学校ホームページの充実を図ります。

## 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ・特別な教育的支援を必要とする生徒への個別の教育支援をすすめ個に応じた教育支援の充実を図ります。
- ・持続可能な開発目標を目指す教育を実践します。

### 特色ある学校づくりにかかわること

- 「東村山第一中学校授業スタンダード」の確立と推進に努めます。
  - すべての生徒にとって分かりやすい授業とユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備を実践します。
  - 「持続可能な社会の創り手として必要とされる能力や態度の育成を視野に「かかわり」を大切にした授業を実践します。
  
- 「いのちとこころの教育」の推進に努めます。
  - 国立ハンセン病資料館の活用等を含め人権教育の推進に努めます。
  - 赤ちゃんふれあい授業の実施等いのちの教育の充実を図ります。
  
- 持続可能な開発目標の達成に向けた取組みを推進します。
  - 生徒会として持続可能な開発目標を位置付けた活動に取り組めます。
  - 生命の尊重、環境教育（1年）、平和学習（2年）、人権教育（3年）などの教育活動と持続可能な開発目標を関係付けることで活動の推進と意識化を図ります。
  - オリンピックパラリンピック教育を充実し、多様性を尊重する態度の育成、国際理解の推進、人権教育の推進を図ります。